

えひめ中小企業応援ファンド事業助成金採択事業

平成 22 年度第1回募集分

〇がんばるものづくり企業助成事業

(五十音順)

区分	応募者名	事業テーマ	事業概要
研究開発助成 (一般枠) 助成率:2/3 上限:2,000万円 期間:2年間	共立電気計器(株) 倉本 正道 (松山市)	EVとメンテナンス対応型 DC電力計の技術開発	太陽光発電や風力発電の電力測定及びEV(電気自動車)メンテナンス等に活用できる非接触式直流電力計を開発する。
	三共オートサービス(株) 松村 俊哉 (四国中央市)	既存自動車の電気自動車への改造開発(コンバートEV)、量産化と市場販売	コンバートEV(軽箱バン)の試作に取り組む中で、特に、安全対策および量産化への技術について研究開発を行う。
	ダイオーエンジニアリング(株) 森 憲一 (四国中央市)	大量迅速処理を可能とする廃棄硬質プラスチックの高精度材質別選別装置の開発	廃家電等の破碎により発生するミックスプラスチックを、高精度かつ単一材質ごとに選別する装置の研究開発に取り組む。
	萩尾高压容器(株) 萩尾 広典 (新居浜市)	長寿命・高速ベルトコンベアローラの開発	船舶等で使用されているベルトコンベアローラへの塩害による腐食対策として、ベアリング部の気密性を上げたコンベアローラを開発する。
	(株)マエダ 前田 耕作 (宇和島市)	地域特産もち麦(又は大麦)「ふすま」を活用した高濃度ギャバ含有食品素材の開発	愛媛県産のもち麦「ふすま」を活用して、従来法の2.5倍以上のギャバを含有する食品素材を研究開発するほか、低コストで安定的に生産するための技術開発にも取り組む。
	(有)丸智 中越 行春 (松山市)	テキスタイル用約2m幅インクジェットプリント装置の高速化を実現するデータ伝送機能を含む制御装置の開発	印字品質・処理能力の向上といった、常に求められている市場ニーズに応えるため、各種制御装置の開発ノウハウを活用して、より高速なデータ伝送技術の開発に取り組む。

区分	応募者名	事業テーマ	事業概要
研究開発助成 (小規模枠) 助成率:2/3 上限:300万円 期間:2年間	(有)岩城電機商会 若城 博之 (松山市)	誰でも簡単、安価高効率 コンバート EV キットの製 作	コンバートEVの試作に取り組む中で、簡単 かつ効率的にコンバートを可能とする、車種別 の製作キットを開発する。
	(株)オーエムアイ 大川内 修 (大洲市)	農政2制度の相互間チェ ック付一元化システムの 研究開発	「農業者戸別所得補償制度」申請作業の効 率化及び「中山間地域等直接支払制度」との 相互チェック可能な一元化システムを開発す る。
	環境資材(株) 高橋 章 (新居浜市)	アルミニウムスラッジを 活用した保水性建材の 適応技術開発	ヒートアイランド現象によって起きる温度上 昇の抑制を目的とした保水性建材の開発に取り 組む。
	(有)ティークラフト 徳永 等 (松山市)	穴内径形状簡易測定装 置、溝(隙間)形状簡易 測定装置の研究開発	モーターの軸受けやシリンダなど、穴(溝) の寸法や形状を簡易に測定する装置を開発 する。
	(株)中川自動車商会 中川 好市 (松山市)	コンバートEVの試作開 発	これまでのノウハウを生かし、コンバートEV キットを開発して、自社オリジナルのコンバ ートEV車の製作に取り組む。
	ロータス愛媛(株) 清水 秀和 (松山市)	オリジナルEVミニカー (原付四輪車)の試験研 究開発	ミニカー(原付四輪車)のコンバートEV化に おいて、ボディからの設計製作も視野に入れ た、個性ある街乗りコミュニテEVカーの製造 技術の研究開発に取り組む。

※スーパーベンチャー・FS調査助成については、採択がありませんでした。

[他の採択事業はこちら](#)